

東日本大震災の被災地支援を続けています

東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故から4年。今もなお、21万を超える人が仮設住宅に暮らすなど、復興にはまだまだ遠いのが現状です。また原発事故以降、福島には生活や健康上の不安を抱える人も多く、放射線による健康被害が心配されるために、子どもたちは外でのびのびと遊べない状態が続いています。

グリーンコープは公益財団法人共生地域創造財団（以下、財団）を通して、行政などの支援が行き届かない人たちへのきめ細やかな支援を行ってきました。

今年も「東日本大震災復興支援募金」に取り組みます。募金の申し込みは、カタログGREEN51号（3月2日から配布）のチラシでご案内します。

※グリーンコープ、ホームレス支援全国ネットワーク、生活クラブ生協が連携して被災地の復興支援などをしながら、地域創造の実現を目指す団体

共生の時代

みどりの地球をみどりのままで


2015 3月

■発行：グリーンコープ共同体育理事会
 ■編集：共生の時代・編集部
 ■〒812-8561
 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 博多大博通ビルディング3階
 TEL 092 (481) 7923
 FAX 092 (481) 7876
<http://www.greencoop.or.jp/>

Contents

福島で新しい支援がスタート	2
ひろしま発 キープ&ショップ きんさいぐり〜んオープン	3
2014年度「打って出る！」に取り組んで各地でグリーンコープを伝え、たくさんの仲間を増やすことができました	4・5
グリーンコープ共同体組織委員会 2014年度脱原発学習会 原発再稼働の危険性と原発ゼロ社会への道	6
グリーンコープの輪・和・環 グリーンコープやまぐち生協 國司 康子さん	7
別紙にて、「放射能汚染と向きあう（放射能測定室より）」を掲載	

チェック! 第10回GMOフリーゾーン全国交流集会在3月7,8日に熊本阿蘇で開催されるよ。「遺伝子組み換え作物は植えない、売らない、食べない」ことを宣言するGMOフリーゾーン運動を広げていこう!



福島県 福島ほかほかプロジェクト



保養地の自然の中で元気に遊ぶ子どもたち




放射線量の高い地域に住む子どもたちや妊婦さんに、線量の低い場所で過ごしてもらおう「福島ほかほかプロジェクト」。グリーンコープは安心・安全な食材を提供しています

宮城県 グリーンコープの支援で笑顔が戻った



石巻市蛤浜・折浜ではグリーンコープの支援で牡蠣養殖が復活。今年は牡蠣も太り、出荷に忙しい日々です

宮城県 巨理町の生産者のマイファーム巨理。津波で塩害を受けた畑が、加工用トマト栽培で復活しました




宮城県 いちご農家の齊藤農園は津波で被害を受け少しずつ野菜を作っていましたが、震災後初めてのいちごを出荷しました




3.11キャンドルナイト

てんきを消して、スローな時間をすごしながら、本当に大切なものは何かを考えよう!



「震災で亡くなられた方への追悼」「被災地の復興への願い」「原発のない社会への願い」。てんきを消して暗闇にキャンドルを灯し、一人ひとりが被災地に思いを馳せ、本当の幸せとは何かを考える時間。原発をなくしていくために、私たちに何ができるのかを考える機会になるはずです。

岩手県



※2015年4月に施行される生活困窮者自立支援法に向けた市のモデル事業。仕事、金銭、住居など生活全般の相談を一つの窓口で受け、関係機関につなぎ、「伴走型」で問題解決を図る

岩手県にある財団の大船渡事務所では、2012年5月に大船渡市から委託を受け、在宅被災世帯の調査・見守り訪問活動を行っています。2014年12月には、大船渡市から委託された自立相談支援事務所「お困りごと相談室ともいき」を開所しました。事務所で相談を待つだけでなく、困っている人はいないか地域に向いて訪問支援を行うのが特長です。グリーンコープから職員が出向し、食糧の入手が困難・経済的困窮・就労などの問題の支援に精力的に取り組んでいます。